

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

梅田スカイビルにおける、空調熱源2次ポンプの
変揚程変流量制御装置による電力削減事業

排出削減事業者名：積水ハウス梅田オペレーション株式会社 印

排出削減事業共同実施者名：環境経済株式会社 印

その他関連事業者名： 印

申請日： 2019年7月3日

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	積水ハウス梅田オペレーション 株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	梅田スカイビル
住所	大阪府 大阪市 北区 大淀中 1丁目1番88号
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	環境経済 株式会社
その他関連事業者(注3) (複数の関連事業者がいる場合、行を挿入し全ての関連事業者を記載すること)	
関連事業者名	

2 排出削減事業概要

2.1 排出削減事業の名称

梅田スカイビルにおける、空調熱源2次ポンプの変揚程変流量制御装置による電力削減事業

2.2 排出削減事業の目的

空調熱源2次ポンプに省エネルギーシステムを導入して消費電力を削減することにより、エネルギーコストを削減するとともに、CO2排出量を削減して環境保全活動に取り組む。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既設の空調熱源2次ポンプ(インバーターによる圧力一定制御)に、「変揚程変流量制御装置」を追加導入し、部分負荷時の2次ポンプの回転数を下げることで電力使用量を削減し、エネルギー効率を改善する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	■はい □いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	■はい □いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

(個別項目の欄において具体的に記載すること。)

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

排出削減事業計画4項に沿って記載(計画から変更あった場合は、実際の開始日に変更して記載。)

2010年8月6日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ~ 2018年8月5日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
005	間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類 可変能力制御機器の導入

4.2 活動量

排出削減事業が活動量指標を採用している場合、排出削減事業計画5項に沿って記載。

4.2.1 活動量・原単位

対象	活動量	原単位
空調熱源二次ポンプ 低層冷水	稼働時間(h/年)	事業実施前対象設備電力使用量(kWh/年)
		事業実施前対象設備稼働時間(h/年)

4.2.2 活動量の採用根拠

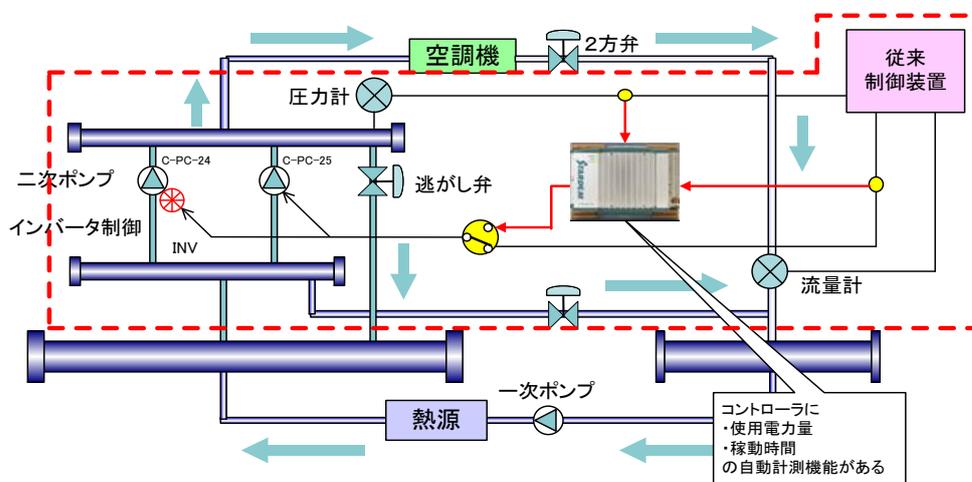
事業実施前、及び実施後の活動量には、空調設備のエネルギー使用量に最も影響を与える活動量である年間稼働時間を採用する。

4.3 事業の範囲(バウンダリー)

注)設備については、申請者の有する設備を個別具体的に記載すること。

低層冷水:2次ポンプに、変揚程変流量制御による
ポンプの出力の及ぶ範囲。(以下の図の点線の範囲)

・低層冷水:バウンダリー



5 モニタリング対象指標

排出削減事業計画7.1項を参照して記載。記載内容に変更のある場合、変更理由を項目ごとに記載すること。

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・根拠資料	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由
Q_{before}	事業実施前積算熱量	GJ/年	25,031	中央監視システムより計測	—
EL_{before}	事業実施前電力使用量	kWh/年	554,839	計測した熱量より算出	—
α_{PJ}	事業実施前活動量	h/年	8,760	台数制御装置で自動計測	—
EL_{PJ}	事業実施後電力使用量	kWh	平成25年度 209,070.5 平成26年度 201,780.0 平成27年度 178,801.3 平成28年度 246,557.7 平成29年度 192,903.0 平成30年度 92,276.0	エコノパイロットで自動計測	—
β_{PJ}	事業実施後活動量	h	平成25年度 8,757.6 平成26年度 8,757.6 平成27年度 8,777.6 平成28年度 8,757.6 平成29年度 8,757.6 平成30年度 3,047.2	エコノパイロットで自動計測	—
$CEF_{electricity}$	系統電力の排出係数	t-CO2/kWh	平成25年度 0.000570 平成26年度 0.000554 平成27年度 0.000531 平成28年度 0.000516 平成29年度 0.000496 平成30年度 0.000496	デフォルト値 (2.5年 \leq t)	—

7 排出削減量の計算

7.1 事業実施後排出量

活動量			単位発熱量	排出係数	CO2排出量
平成25年度	209,071	kWh	---	0.000570	119.2 t-CO2
平成26年度	201,780	kWh	---	0.000554	111.8 t-CO2
平成27年度	178,801	kWh	---	0.000531	94.9 t-CO2
平成28年度	246,558	kWh	---	0.000516	127.2 t-CO2
平成29年度	192,903	kWh	---	0.000496	95.7 t-CO2
平成30年度	92,276	kWh	---	0.000496	45.8 t-CO2
EM _{PJ}					594.6 t-CO2

7.2 ベースライン排出量

活動量			単位発熱量	排出係数	CO2排出量
平成25年度	554,687	kWh	---	0.000570	316.2 t-CO2
平成26年度	554,687	kWh	---	0.000554	307.3 t-CO2
平成27年度	555,954	kWh	---	0.000531	295.2 t-CO2
平成28年度	554,687	kWh	---	0.000516	286.2 t-CO2
平成29年度	554,687	kWh	---	0.000496	275.1 t-CO2
平成30年度	193,003	kWh	---	0.000496	95.7 t-CO2
EM _{BL}					1,575.7 t-CO2

7.3 リークエージ排出量

活動量			単位発熱量	排出係数	CO2排出量
					t-CO2
LE					0.0 t-CO2

7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2排出量
ベースライン排出量 (7.2)	EM _{BL}	1,575.7 t-CO2
事業実施後排出量 (7.1)	EM _{PJ}	594.6 t-CO2
リークエージ排出量 (7.3)	LE	0.0 t-CO2
温室効果ガス排出削減量	ER	979 t-CO2

8 省エネルギー量

注) 複数の方法論を採用している場合は、表を追加して方法論ごとにエネルギー使用量を記載すること。

原油換算 (kl)		
ベースライン(①)	実績(②)	ベースライン-実績(①-②)
763.4	288.5	474.9

$$\text{省エネ量} = 763.4 \text{ (kl)} - 288.5 \text{ (kl)} = 474.9 \text{ (kl)}$$

9 再生可能エネルギー利用量

	モニタリング期間 (年月日 ~ 年月日)			
		エネルギー使用量	熱量換算 (GJ)	原油換算 (kl)
	単位	(実績)	(実績)	(実績)

・本事業において再生可能エネルギーは利用しない。